

SEKI LAB. 2015 Welcome Party

構造・デザイン研究室(関研究室)が4年目を迎え、新たなスタートを切った。修士7名,4年生13名,3年生10名の30名体制となった。

関研は、とにかく飲む、呑む、食べる……。4月4日、大学院歓迎会,4月11日卒業研究生歓迎会,4月18日ゼミ生歓迎会から始まり、週3回ペースで懇親会が開かれている。

[M2]竹田 知樹, 張 加順, 千葉 深広, 前田 滝作, 山田 真弘
[M1]久保田 雄基, 山崎 将寛

[B4]市橋 和人 黒田 慎之介 [B3]浅野 義人 手塚 寛人
岩崎 滯平 小泉 友哉 石垣 柳有侍 長谷川潤之介
岩崎 稜平 行木 飛鳥 菅野 辰将 藤原 徳和
加藤 幹悠 西ヶ谷 悠太 佐々木啓太 御殿 周人
河合 悟志 濱野 北斗 高松 寛子 王 宇宙
木野 翼 ILデ'ボット
黒岩 優輔 ILデ'ボット



竹田知樹君土木学会景観・デザイン研究発表会優秀講演賞受賞

2014年12月第10回土木学会景観・デザイン研究発表会(於大阪工業大学)で竹田知樹君(博士前期課程1年)が、優秀講演賞を受賞した。論文タイトルは、「甘楽町空石積み護岸の力学特性と修復に関する研究」で、石積み護岸をテーマにしたもの。この研究発表会には、同じ博士前期課程1年の山田真弘君「富士霊園におけるマスタープランとデザインの役割に関する研究」、千葉深広君「サルギナトール橋における力学的特性と造形発想に関する研究」、張加順君「土木学会橋梁模型コンテストにおける設計プロセスと設計発想」も発表した。会場から多数の質問に、ドギマギ状態でしたが、専門家としてのデビューを図りました。



博士前期課程1年 竹田知樹君



優秀講演賞の賞状。学会の正式な表彰状ですが、贈呈者名前が関先生です。研究発表会の委員長が関先生というワレミア賞状。

前田滝作君 PC 工学会シンポジウムで発表

2014年10月プレストレスコンクリートの発展に関するシンポジウム(於盛岡)で前田滝作君(博士前期課程1年)が発表した。論文タイトルは、「木製歩道橋Xウエブ橋に関する研究」で、オープンキャンパスで作成した木橋をテーマにしたもの。会場の専門家からの質問に、真っ白になりながら専門家としてのデビューを図りました。

この発表会では、関先生が「滝見橋の計画と設計」を発表したと、他に、関研修士修了第一号の五味傑氏(三井住友建設)が、「滝見橋の計測と解析」について発表した。



ドキドキの発表の博士前期課程1年 前田滝作

関先生滝見橋で JCI 作品賞, PC 工学会作品賞 W 受賞

2014年6月,日本コンクリート工学会賞作品賞に関先生,天野先生,伊東靖氏(日大理土木OB)他,滝見橋関係が受賞しました。PC工学会作品賞は,富士宮市と日本大学理工学部受賞しました。滝見橋は,昨年グッドデザイン賞の他,土木学会田中賞の1次審査通過まで到達しましたが,惜しくも受賞を逃し3冠達成という偉業を成し遂げました。これらの受賞によって,滝見橋は,日本を代表するコンクリート橋の名橋という証を戴きました。そして,39mの歩道橋でも,やはりただ者ではなかったことを国内で証明されました。



日本コンクリート工学会(JCI) 作品賞受賞式

恒例の第6回 Bridge Design Contest in SEKI LAB. 2015 開催

研究室恒例の第6回ブリッジデザインコンテストが,6月20日に開催された。スケレーパーを用いて,テーマに即した橋をデザインし,強度,重量,桁高,美しさ,実現性,模型としての完成度を競うもの。第6回の今年のテーマは,"フリースタイル"新しい構造を求めて,いざ勝負。



ブリッジコンテスト状況

3年ゼミナール はし・みち・まち歩き

今年の関研究室のはし・みち・まち歩きは,神田明神まつりの日に実施されました。江戸の総鎮守である神田明神は,遷座400年という節目のまつりとなった。昼も夜もお神輿のにぎやかなパレードでした。この日の見学会のルートは,聖橋~神田明神~万世橋~和泉橋~昌平橋~神橋である。

